

JD Farag 牧師 中東アップデート 2017年12月31日公開

2017年の特記すべき展開

今日の預言アップデートでは、最近の歴史の中でも特記すべき年のひとつとなった、2017年についてお話ししたいと思います。預言的に言えば、確実にそうでしょう。年の始めに私は、「トランプが大統領になったことで、聖書預言成就の『加速度を増す』だろう」と言いました。私はわざとこの言葉を選んだのですが、なぜ『加速度を増す』という言葉を選んだかと言えば、イエスが黙示録22章でそう言われたからです。

“「見よ。わたしはすぐに来る。」” (黙示録22:12)

これは、新約聖書の原語であるギリシャ語では、興味深い言葉が使われていて、英語の「タコメーター」という言葉の、語源となっているのが、このギリシャ語の「タコス」です。これは、1分間の回転数、RPMを計ります。そして、ここでイエスが言われているのは、「見よ。わたしは、『ものごとが加速度を増して来たら』来る。」

ものごとが、スピードアップして来たら、という意味です。

この一年を振り返ってみました。ものすごい一年でした。私が驚いた事の一つは、あまりにもものすごいスピードで過ぎた点です。もちろん、毎年同じことを言っていますが、しかし神の預言的暦で言えば、全ての事がものすごいスピードで展開した様子は、深い意味があると思います。こうして1年の終わりに来て、もう起こり始めているようにも感じられ、2018年に向けて、また2018年は、実に深い意味があると思います。

先週、少し時間をかけて、この1年に起こった事を振り返ってみました。時間の関係で、今年、最も預言的な意味があったもののうち、4つだけを濃縮してお話ししたいと思います。これらの興味深いのは、これらが皆、内側でつながっているようです。もっと言うなら、パズルのピースのように、互いに交差しているのです。頭の中でイメージしてみてください。聖書預言は、クロスワードパズルのようです。全てが繋がりがあ、互いに交わり合っているのです。全てが完璧に繋がって絵が出来上がる、パズルのようです。

まず一つ目は、頻度、激しさ共に前代未聞の増加を見せた、自然災害です。これに関してよく言われた言葉が、「地震や自然災害は、昔からずっとあったじゃないか。」確かに、これまでもありました。しかし、今日のようなものは、これまで人類史上なかった、というのは否定でいいでしょう。その大きさや規模は、まさに産みの苦しみのように、激しさを増して行き、さらに頻度が増す一方です。巨大嵐が来たと思えば、息つく暇もなく次、そしてまた次。そして、それがまだ起こっている間に、こちらでは、これが起こって... というようでした。

火曜日のCNBCは、2017年を「大災害の年」と名付けました。一部記事を読んでみましょう。

——2017年は、自然災害で破壊的な年でした。壊滅的な洪水、自然火災、地震等が、地球全体で何百万という人に、影響を与えました。SIGMAの最近の見積もりによると、今年の災害による経済的損失は、合計3060億ドル。——

これは、この災害でなくなった人たちの命には触れてもいませんよ。こうして話している間にも、洪水が起こっています。カリフォルニアの火事は史上最悪です。記録史上最悪な火事が、こうして話している間にも、起こっているのです。

マタイの福音書24章で、弟子たちは、主の来臨の時と、世の終わりの時のしるしについて、イエスに聞いています。そして4節で、イエスはこのように答えています。

“人に感わされないように、気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大勢現れ、『私こそキリストだ』と言って、多くの人を感わすでしょう。また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。氏族は氏族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に飢饉と地震が起こります。”（マタイ 24:4-7）

それから、主はそれを産みの苦しみに例えて言われました。

“しかし、そのような事はみな、産みの苦しみの初めなのです。”（マタイ 24:8）

産みの痛みといえば、頻度と激しさが増す事を、私たちは事実として知っています。そして、これらの事が確かに、今の終わりの時に起こっています。

ここから 2 番目に繋がって、「戦争のことや、戦争のうわさ」です。特に、シリアのダマスカスに関する、地政治的展開です。2017 年は、確実にシリア国内で、ある者達の大きな移行が起こりました。また、もっと重要なのは、彼らがシリアに居ることでしょう。

「どの聖書預言が、成就寸前だと思うのか」と聞かれるなら、シリアのダマスカスに関するイザヤ 17:1 です。読んでみましょう。

“ダマスコに対する宣告。見よ。ダマスコは取り去られて町でなくなり、廃墟となる。”（イザヤ 17:1）

その日、ダマスカスの上に、突然の滅びとして襲う、と信じられています。ダマスカスの町が、廃墟になるほど壊滅的なのです。これは、これまで一度も起こった事はありません。ダマスカスは、廃墟になる寸前か？そうです、寸前です。しかし、最悪の事態はこれからです。何かが起こるのです。これはイスラエルによる攻撃だ、と信じている人もいます。イスラエルも、すでにそこに居ますし、特にダマスカスには、何発もミサイルを送り込んでいますから。ダマスカスには、バッシュール・アサドが、『大量破壊兵器』を置いていると言われていました。キーワードです。病院や、学校の下に隠している為、非常に困難なのです。しかし、ダマスカスの一か所を一回攻撃するだけで、この町は完全に破壊され、廃墟となります。現在は、全員がシリアのダマスカスに居て、備えが出来ている、と言っておきます。まさに、そうなる聖書が伝えている通りにです。

誰か、ロシアの大統領ウラジミール・プーチンに、このイザヤ書の預言を知らせてあげてください。この AlArabiya の記事によれば、彼は、シリアのバッシュール・アサドに——「シリアの主権を守る為に、ロシアは今後も支援する。」——と新年のあいさつの時に、伝えたそうです。

次に、これがまた、クロスワードパズルのように、この 3 番目の展開に繋がります。

それは、預言的な国の同盟関係で、ロシアとイランを頭に、今まではトルコ、そして最近、スーダンまでもが並びました。さらには、非常に興味深いのが、サウジアラビアです。今年の 11 月、ある人が「地殻変動」と名付けた、プーチンがロシアで「勝利サミット」を開催しました。そこで彼は、イラン、トルコの両方と会いました。このような事は今まで一度もなく、歴史的であります。またこの同盟は、聖書預言を学ぶ者にとっては、とても興奮するものでした。それはまさに、2500 年以上前に、エゼキエル書で告げられている通りだからです。もちろん、エゼキエル 38 章です。これはこの一年間、私たちが頻りに話をしていた預言です。全文はお読みしませんが、皆さんがこれについて知っていることを前提に、お話しします。基本的には、あの地域でのロシア、イラン、トルコ、スーダンの同盟で、それにエチオピアといったイスラム諸国が、ロシアとイランの指揮で、イスラエルに対して核戦争を行う、というものです。そうして彼らは、「略奪」するのです。言い換えれば、彼らはイスラエルの持っているものが、欲しいのです。イスラエルは何を持っているのか？彼らは、略奪品（SPOIL）を持っています。“SP”を取れば、“OIL”（石油）。それからイスラエルには、天然ガスもあります。そして技術もあります。イスラエルは繁栄していて、全てのものを持っています。それを、彼らは狙っているのです。

その為に、彼らは何をするのかが13節に書かれています。またここには、この預言の、さらに面白い詳細も告げられています。それは、シェバとデダンについてで、これは現代のサウジアラビアです。そして興味深いのが、彼らはロシアやイラン、トルコそのほかの同盟には加わらず、この同盟国による攻撃に対して、抗議するのです。その抗議が、タルシュシュの商人たち、および、そのすべての若い獅子たちと一緒に、彼らは抗議しながら、問うているのです。

“あなたは物を分捕るために来たのか。獲物をかすめ奪うために集団を集め、銀や金を運び去り、家畜や財産を取り、大いに略奪しようとするのか。” (エゼキエル 18:13)

これは、サウジアラビアは、ただのロシアやイランの同盟に加わらないだけでなく、むしろ、イスラエル側である事が分かります。こんな事、誰が考えられたでしょう。月曜日の The Jerusalem Post の報道は、ほぼ、エゼキエル 38 章を読んでいるようです。こんな事は、やろうと思って出来る事ではありません。記事のタイトルは、「高まるイランの脅威を除けば、イスラエルの将来は明るい」。記事には、サウジアラビアの若い皇太子、ムハンマド・ビン・サルマーンのもと、イスラエルに傾倒する動きについて伝えていて、イランをものともせず、イスラエルにとっては大きな好材料である、と書かれています。これは、まさに 38 章 13 節だと思っるのは、私だけですか？彼らはまた、経済面でのイスラエルの明るい将来についても、伝えてあります。彼らが発表した、その統計によると、イスラエルの一人当たりの国内総生産は、1948 年の 3 千ドルから、2017 年は 3 万 9 千ドル近くまで飛躍しました。もう一つ、イスラエルの外貨保有高です。1960 年の 10 億から、1000 億に飛躍。今日、1000 億です。100 倍です。もう一つ、イスラエルのハイテク産業は、世界のトップ 5。そして 300 以上の海外企業の開発研究の本拠地である。だから、彼らは興味があるのです。イスラエルは、空気から飲料水を作れるとご存知ですか？それとも、皆さんのポケットに入っている携帯電話はどうですか？携帯電話の技術を、ご存知ですか？それがどこから来ているか？イスラエルです。全てをお伝えしている時間はありませんが、これら全ては、イスラエルから出ているのです。この 300 の海外企業の内の一つ、モービルアイは、インテルに 150 億ドルで売却されました。今日、イスラエルは非常に繁栄しています。ものすごく繁栄しています。

それから次に、イスラエルの軍隊が中東で最強である事について伝えてあります。これは事実です。世界では、トップ 10 に入ります。報道によれば、核兵器、超現代的なミサイル防衛システム、それから一流の飛行機とパイロットを保有し、情報軍は世界一。これ、ご存知でしたか？

さて、結論です。記事から引用します。

——これら全ての事から、将来は明るい...イランの脅威を除いては。面積 2 万 km²、その半分以上 58% が砂漠の国に対して、彼らは、いつか核兵器を使用する。しかしその時には、イスラエルは様々な戦力を持っている。またイランは自国内で、さらに海外でも、深刻な問題を抱えている。——

皆さん、イランで起こっている事については、ご存知ですか？かれこれ 4 日目になりますが、これがとても興味深いのです。今朝、この FOX ニュースの報道に、思わず目を疑いました。これが 2009 年のデモと大きく異なるのです。

皆さん、ご存知だと良いのですが、先にお伝えしておく、ものすごい数のイラン人達が、イエス・キリストに立ち返って救われているのです。群衆がですよ、大量に。中東でムスリム達が、集団でキリストの救いに至っているのです。私は、それに対して神を讃えます。

さて、この抗議しているイラン人達は、アーヤトッラーのイスラム政権撤退を求めているのです。2009 年の時には、これはありませんでした。

でもちょっと待ってください。私の聖書によれば、イランはロシアと一緒にあって、他の国と一緒にイスラエルを攻撃する、とあります。だから私には、彼らがこのイスラム政権を撤退させる事に成功するとは思えないのです。考えてみてください。現在、秒読みが開始されている事に、政権が気づいた、という可能性は

ありませんか？改革が起こった時に？実際、彼らは“シャー（かつてのイラン国王）の息子”を要求しているのです。聞いてください。1979年以前、イラン国王の崩壊前は、イランはイスラエルの友好国だったのですよ。こんな事、考えられますか？1979年、私は16歳でした。高校を1980年に卒業したのですが、当時は若かった私でも覚えています。イスラエル人は、休暇にイランへ行っていたのです。

木曜日は、エステル記を学んでいますが、これがものすごく面白いです。どの書でも言っていますが、聖書の中で、この書が一番大好きです。これがもう、神の主権と、神が状況を采配される様子に、うっとりするのは、神は、エステルとモルデカイを使って、神の民ユダヤ人たちを、反キリストの型であるハマンの手から救い出します。ちなみに、この書の予型はケタ違いですよ。そしてこれが、ペルシャ帝国なのです。ペルシャ帝国。そして早送りをして、今日の私たち。ところで、彼らがペルシャからイランに名前を変えたのは、前世紀の事ですよ。1979年に、イラン・イスラム共和国になったのです。そして、この4日目に突入したデモで、本当の看板は、散らされてありませんが、彼らは、このイスラム政権の打倒を要求しているのです。これは流れを変えるものですよ。しばらく目が離せません。これは預言的に深い意味がある、と私は思っています。

ただ、ものすごく興味深いのが、デモ隊が主に抗議しているのは、イラン国内の経済です。それについて、Ynet ニュースが報じているのが、
——彼らは、パレスチナ人から直ちに手を引け、と政府に要求。どうもイランは、国民が経済危機に苦しんでいる時に、高額な地域紛争に関与し、シリアのアサド、ヒズボラ、ハマス、フーシ派反政府軍に、資金提供している事に対して、イラン人達は抗議しているようだ。——

これがまた、最後の4番目に繋がります。それは、
「エルサレム分断に憑りつかれ、よろめく」
ユダヤ人と自称パレスチナ人が、隣り合って平和に安全に暮らすという、二国解決策の名の下にです。これはもちろん、第一テサロニケ 5:3 で、パウロは次のように書いています。

“人々が、「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど、妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それを逃れる事は、決して出来ません。”（第一テサロニケ 5:3）

「平和だ。安全だ。」と来る年には、たくさん聞くことになると思います。そして、また産みの苦しみの例えが出てきています。これは、『彼ら』に襲いかかるのであって、『私達』ではありません。『私達』は『彼ら』ではありません。ものすごい深いですよ。『私達』は逃れます。私達は逃れますよ。最大の脱出です。祝福された希望、唯一の希望です。それは、ラッパの響きのうちに、キリストにある死者がまず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会う（第一テサロニケ 4:16-17）。このようにして、私達は逃れるのです。私達が『私達』、彼らが『彼ら』です。突如の滅びが下る時、『彼ら』は逃れられません。私は心から信じていますし、それはどんどん確信に変わっていますが、突然の滅びが下る時、私達は上に上がります。私達は上に上がるのです。それに対して私は、「さあどうぞ！」と言いますよ。

私にとって、2017年預言的に最も大きな意味があったのは、最近のトランプ大統領による宣言、「エルサレムがイスラエルの永遠の首都である」それと、「アメリカ合衆国は、大使館をテルアビブから、エルサレムへ移動する」

ここで締めてしまうのは、申し訳ないですが、私はこの展開、この宣言によって始まったと思っています。聖書預言が起り始めた。これまた、こんな事は今までありませんでした。このような事は、今まで見た事はありません。すでに、不平不満が聞こえ始めていて、この結果として脅迫が起こっています。これが2017年の最後に来たのなら、最後に、私の中にある質問をして、終わりたいと思います。この2018年の

カウントダウンが始まる大晦日、非常に興味深い年、2017年に別れを告げるにあたってお聞きしたい事です。

2017年、これほど多くの事が、すごい速さで起こったのなら、2018年は、もっと起こると思いませんか？もっと多くの事が起こるだけでなく、2018年は、起こる速度がさらに早くなると言えますか？陣痛は、一旦始まると、もう止まりません。部屋に来て、こんな事を言う医者居ませんよ。「今日は、職員とランチの約束があるから、ちょっと我慢してくれる？」いいえ、出来ません。一旦始まると、もう止まりません。止まらないどころか、頻度も激しさも増す一方です。同様に、全ての事はすでに始まっていると、私は思います。

もう一步踏み込んで、次に質問をさせてください。この事から、私達クリスチャンは、しっかりとして、真剣になるべきだと思いませんか？備えをするべきだと思いませんか？中途半端な事は止めて。教会ごっこは止めて。この事から、今こそ私達は、からだをまっすぐにして、頭を上げる時だと思いませんか？贖いが近づいているのだから（ルカ 21:18）。これに関してヨハネが何と言っているか、ご存知ですか？

“この望みを抱く者はみな、キリストが清くあられたように、自分を清くします。”（第一ヨハネ 3:3）

この意味は分かりますか？身辺整理をする、という事です。例えば、病院に言ったら医者が言うのです。「悪い知らせがある。もう末期だ。」「先は長くない」「身辺整理をした方が良い。」ここは、そういう事です。身辺整理をしなければならない。

最後にもう一つ。これまでに一度も、救われるために、主の御名を呼び求めた事の無い人に、一言お聞きしたいです。「なぜ?!」本気ですか？世界中で、これだけの事が起こっているのに？私は賢ぶるつもりも、ふざけるつもりも、カッコつけるつもりもありませんが、ただ真面目に、なぜ先延ばしにするのですか？あなたの人生で、最も重要な決断ですよ。永遠のいのちが、かかっているのです。

イエス・キリストいおける救いの福音を、救いの ABC でお伝えします。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

あなたが罪人であることを、認める。そして、救い主が必要であると認識する。ローマ書にはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」（ローマ 3:10）

“すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、”（ローマ 3:23）

私達は皆、罪人として生まれたのです。だから、神の御国に入るためには、私達は霊的に新しく生まれなければならないのです。ローマ 6:23 にはこうあります。

“罪から来る報酬は死です。”

死刑です。しかし、次が良い知らせです。

“しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠の命です。”（ローマ6:23）

B=Believe/信じる

Bは、イエス・キリストが主であると心で信じる。ローマ10:9-10にはこうあります。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。”（ローマ10:9-10）

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

主の御名を呼び求める。ローマ書にはこうもあります。

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。”（ローマ10:9-10）

そして最後に、これで契約成立です。こうあります。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」”（ローマ10:13）

神の前に立ち返るのに、今日2017年の最後の日以上に、ふさわしい日があるでしょうか。

祈りましょう。

天のお父様。感謝します。ヨハネが記録しているように、あなたは言われました。事が起こる前に、何が起こるかあなたは知らせてくださる、それが起こった時に、私達が信じるために、と。主よ。私達は信じます。そして、これを信じる者達が、これらの事が起こり始めるのを見たなら、主よ、その時は、私達はからだをまっすぐにして頭を上げます。私達の贖いが近づいていますから。主よ。2018年が、あなたが戻って来られる年になり得るでしょうか。確実に、なり得ます。ですので主よ。私達は祈ります。マラナタ！主よ、早く来てください。イエスの御名によって。アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe（英語）、「DIVINE US」（日本語）を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」
ヘブル4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい